

2010年11月28日 主日礼拝

司 会	①梅津兄	②松永兄	③中村勝兄
奏 楽			
祈 禱	①石橋兄	②高木師	
賛 美	讃美歌234番	(主は今生きておられる)	
十 戒			
聖 書	① ルカによる福音書5章12～16節		
	②③ ペテロの第一の手紙1章1～9節		
音 楽	① 北島美佐子姉		
	②③ アフレル		
メッセージ	① 「主の手にふれられて」 柴田順一副牧師		
	②③ 「躍り上がるような喜び」 大川従道牧師		
賛 美	「注ぎたまえ主よ」(献金)		
頌 栄	「ハレルヤ」		
祝 禱			

「たとえわたしは死の陰の谷を歩むとも、わがわいを恐れませぬ。
あなたがわたしと共におられるからです。」(詩篇二十三の四)

石の枕

カトリックの作家「加賀乙彦」氏の作品にはいつも心引かれる。「小説家が読むドストエフスキー」(集英社新書)も秀れているが、最近読んだ『悪魔のささやき』は全国の牧師たちに目を通してほしい本である。

ちなみに加賀氏は、東大医学部卒。東京拘置所医務部技官を務めた後、精神医学および犯罪学研究のためフランス留学をされている。この本は、自殺(自死)者に対する深い愛にあふれている作品である。少し紹介する。

十六分に一人、日本のどこかで誰かが自殺している。

自殺者の共通点は、命を絶とうとした最期の瞬間について、ほとんどの人が多少表現の違いはあるものの、やはり「悪魔がささやいた」というようなことを口にしていたこと。

「いえ、私は別に死ぬ気なんてなかったんですよ。発注ミスをした部下と一緒に取引先に謝りに行ってペコペコ頭下げて、会社に戻ったら上司に嫌み言われて、明日提出しなきゃいけない書類があったんで残業して。で、なんだかひどく疲れちゃったもんだから、帰り道にある歩道橋の上でぼんやり車が通るのを眺めていたんです。もう女房は寝てんだろうなあ。今日も残りものチンして一人で食べるのか。そういえば最近、うまいもの食ってねえなあ。いいことなんかなんもないもんなあ……そんなことを考えているうちに、なんだか生きててもしょうがないような気がして、次の瞬間には歩道橋の手すりを乗り越えていました。自分の意志で飛びおりたというより、操り人形みたいに誰かに動かされてるような感じでした。」

うつ病の精神症状の一つに希死念慮があります。自己評価が非常に低くなり、「私なんて生きていく価値がない」「生きててもしょうがない」と考える。

この本は小説ではなく、結構学問的分析のよくなされている書物であるが、表現のしようがなく「自殺の背後には、悪魔のささやき」がある、ということを知りかえし訴えている。

子どもたちに「死の教育」。ストレス解消。食事療法等々。すぐれた指摘がなされているが、本気で「悪魔・サタン」と対決していないのが残念だ。これらのテーマは、キリスト者こそが、真剣に対話し、光を見い出しておかねばならないことである。主の命令！「生きよ！」。主がお召し下さるまで生き続けよ！！

【大和ニュース】

- ・ 本日よりアドベント(待降節)に入ります。祈りをもってクリスマスを備えましょう。
- ・ 本日、「入門講座同窓会」が開かれます。担当は柴田先生。3階、9時。
- ・ 「洗礼準備会」、アブラハム会、モーセ会、役員会、J.PLUS あり。
- ・ 今週は今年最後の「聖餐式」があります。水曜夜と木曜朝。説教は大川牧師。
- ・ 福音礼拝は火曜夜2時半。説教は倉知副牧師。
- ・ 準備祈禱会は金曜夜9時から。説教は佐々木補教師。
- ・ 週末礼拝は、土曜夕6時から。説教は倉知副牧師。
- * ご婚約おめでとう！脇正樹様と小岩淳子様。第3礼拝後。当チャペルにて。
- * 教会総会は来週日曜夜2時より。代議員は資料を持参してご出席下さい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: I ペテロ5章～ I ヨハネ3章 Bコース: Eゼキエル40章～ダニエル4章